



電子マニフェスト運用事例発表

AsahiKASEI

平成27年1月29日

旭化成ホームズ 株式会社
資源循環センター 田島 武

内容

AsahiKASEI

- ・ 会社概要
- ・ 電子マニフェスト使用状況
- ・ 広域認定による自社処理
- ・ 電子マニフェスト運用
- ・ 電子マニフェストのメリット
- ・ 今後の課題

AsahiKASEI

AsahiKASEI

社名

旭化成ホームズ株式会社

所在地

〒160-8345 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル

設立

昭和47年（1972年）11月

資本金／売上高

32.5億円／4,862億円
（平成25年3月期連結）

従業員数

5,589人（平成25年3月末現在・連結）



事業内容

新築請負事業

戸建住宅「ヘーベルハウス」
集合住宅「ヘーベルメゾン」



リフォーム事業

60年メンテナンスプログラムの実行
ライフスタイルの変化に合わせた
暮らしの提案



不動産関連事業

マンション開発「アトラス」
ストック事業「ストックヘーベルハウス」
宅地開発「ヘーベルタウン」

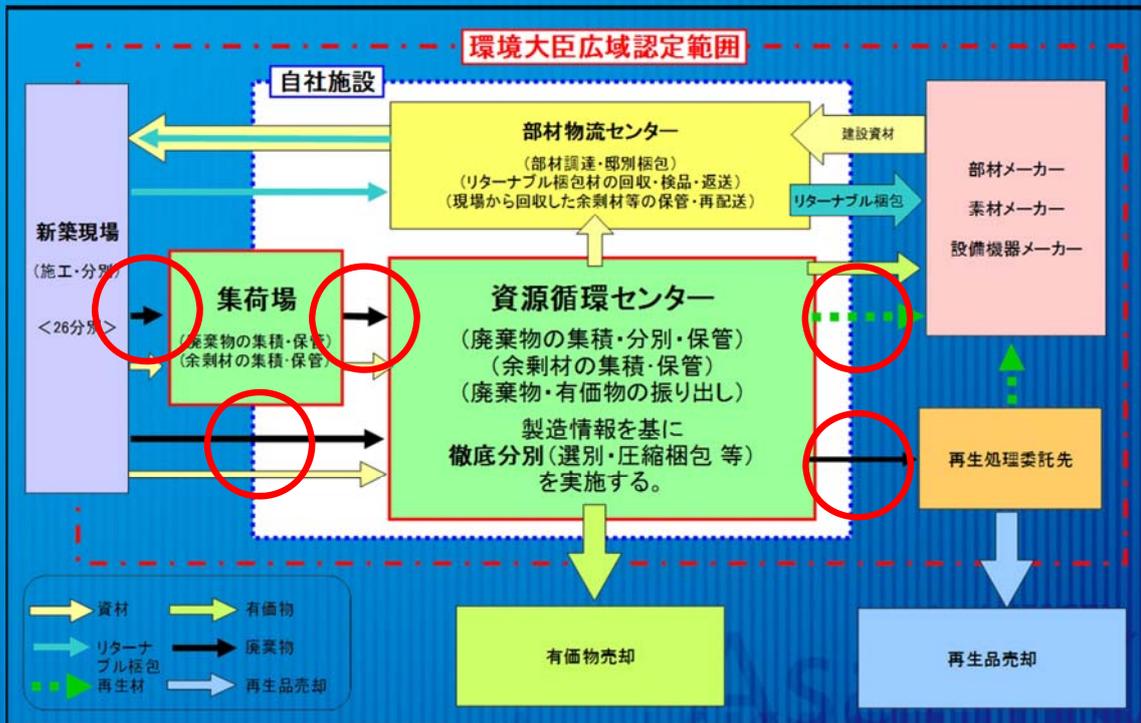


- ・平成12年以降電子化を推進
(紙マニフェストにE票が追加)
- ・平成19年 資源循環センター設置
- ・同年 12月 広域認定取得
(センター受け入れは電子を前提)
- ・平成24年新築産廃電子化100%

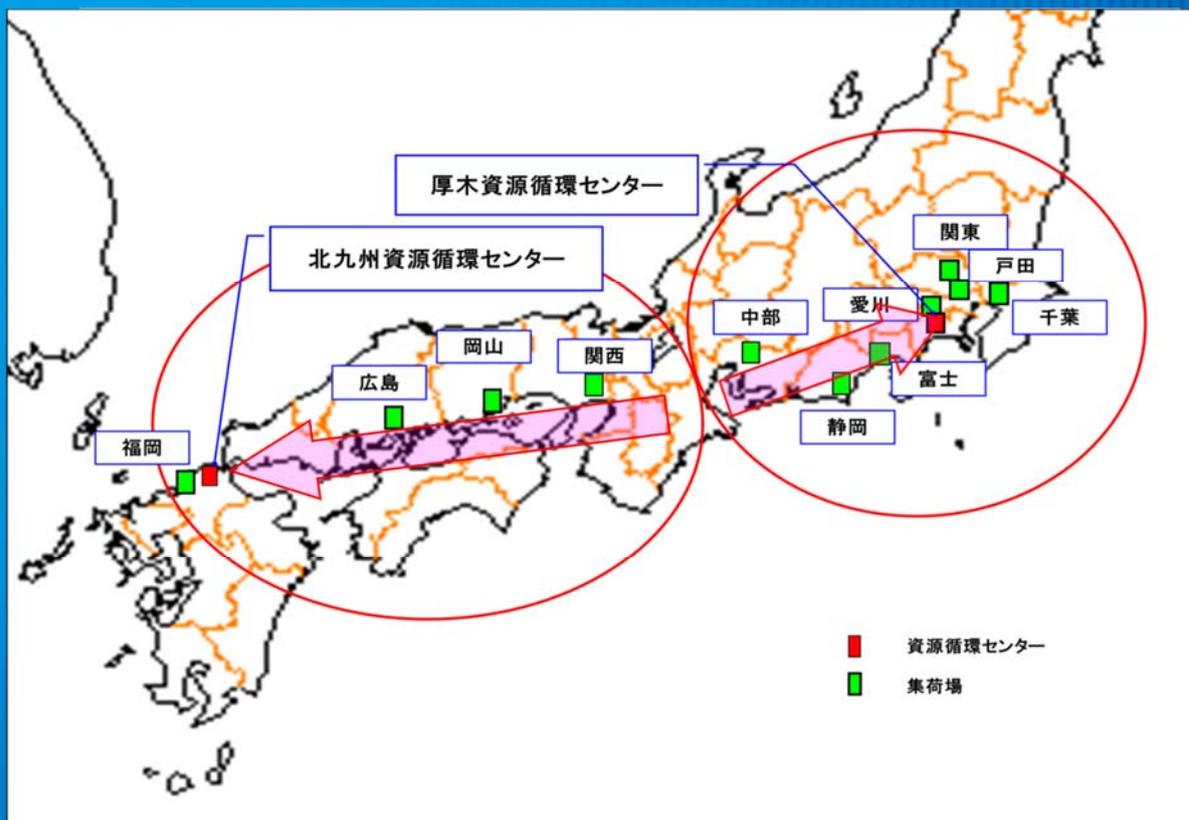
- 1) 小規模の現場が多数存在する。
 - ⇒回収が困難である。
 - ⇒現場内保管に限界がある。
- 2) 少量・多品種の廃棄物
 - ⇒分別管理が容易ではない
 - ⇒再資源化・有価物化には集約が必要

**広域認定による現場配送車両を
活用した回収及び自社処理**

新築ゼロエミッション全体工程図



施設の配置



廃棄物回収情報の作成

AsahiKASEI

現場

1. 現場で袋についているタグの回収データ(契約番号、品目、発生分類)を回収ドライバーにて作成



現場でバーコードを読み取る



集荷場

2. 集荷場に搬入



集荷場

3. 集荷場で、袋毎の重量を測定



バーコードを読み取る



クラウド上のサーバー

4. 重量と回収データを紐付けてクラウド上のサーバーにアップする。

廃棄物に添付するタグ

AsahiKASEI

S0900000025



品目			発生分類				
1	木くず	14	発泡スチロール	51	杭・地盤	64	大工
2	DF	15	ネオマ	52	基礎	65	左官・タイル
3	石膏ボード	16	クロス	53	躯体・目地	66	クロス・CF
4	ダンボール	17	巻きダン	54	床SL	67	キッチン・収納
5	紙くず	18	その他樹脂	55	瓦(P系)	68	給排水
6	屋根材	19	PPバンド	56	防水	69	電気・照明
7	セメント成型板	20	PE	57	外部シーリング	70	太陽光
8	ALC	21	がれき類	58	吹付	71	UB・シャワー
9	タイル	22	シーリング・塗料	59	樋(縦横)	72	その他設備
10	ロックール	23	その他廃棄物	60	軒天	73	クリーニング
11	金属くず	24	清掃くず	61	外装	74	外構
12	電線くず	25	未使用材	62	耐火・界壁	75	その他
13	塩ビ	26	ペール缶	63	壁断熱		

*バーコードを折らずに貼ってください。



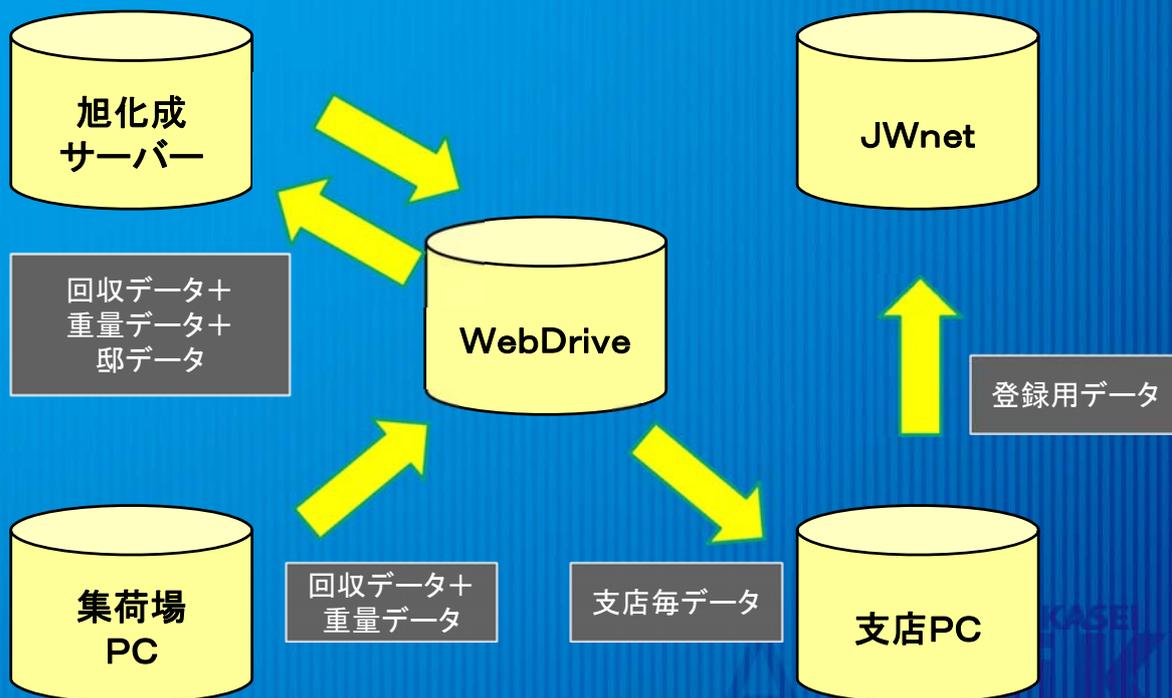
S0900000025

AsahiKASEI

AsahiKASEI

電子マニフェスト登録までの流れ

AsahiKASEI



マニフェスト登録への流れ

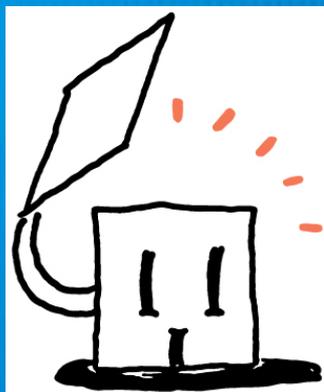
AsahiKASEI

AsahiKASEI

AsahiKASEI

- ・管理ソフトの開発費・メンテ費用の削減
⇒携帯端末、重量計測等のソフトを分割
広域認定内業者で共通利用が可能
- ・廃棄物データの集計・加工の容易性
⇒解体工事等のデータと同様に取り扱い
- ・処理情報の閲覧、管理の容易性
サブIDにより本社管理部門でも閲覧可能

- ・取扱い可能なデータ件数の増加
⇒一度に登録可能なデータ件数100件
- ・検索可能なデータ件数の増加
⇒一度に検索可能なデータ件数500件



ご清聴有難う御座いました！

AsahiKASEI

AsahiKASEI